紫波町食育地産地消実証実験プロジェクト事業補助金申請事業

	申請団体	連携先	事業名	関連するプロジェクト	事業概要	交付決定額
1	盛岡大学 氏家研究室	株式会社よんりん舎 株式会社高橋農園	紫波町の特産品を使った 商品開発～高齢者や食 事療法を必要とする人を 対象として～	紫波町のセントラル キッチンプロジェクト	<p>紫波町産の農産物を利用した商品開発は以前から要望は多いが、その多くは地元農産物の活用のみにとどまることが多い。 セントラルキッチンの活用により、集中した加工作業での商品化を可能とするほか、盛岡大学栄養科学部の栄養学的な専門的知識、高橋農園が有する調理技術と食品加工施設の活用、よんりん舎の事業者間連携、情報発信力を融合し単に一次加工ではなく、健康を軸としたレシピを学生と協力し可能性を広げる。 商品開発の詳細は、紫波町産の粉を主原料とした団子をベースに、町内産品を使ったタレを商品化の予定。原価計算等をしっかりと行い、より現実的な研究開発を行う。</p> <p>■対象者 町と近隣市町村の特産品販売所、医療福祉施設</p> <p>■事業スケジュール 2024年8～9月 3社打ち合わせ、商品展開するメイン農産物と、ターゲットの選定 2024年10月～12月 盛岡大学にてレシピ開発、試作、レシピ調整 2025年1月 セントラルキッチンでの商品化、イベント等でのPR活動 2025年2月 関連団体および関係者との意見交換、活動展開の確認</p>	100,000
2	紫波ツーリズム 協議会	あぐりちゃや (株)高橋農園	わくわく食農 体感実証事業	野菜いっぱい プロジェクト	<p>若い子育て世代の親子が農畜産物の生育・飼育と関わる機会が減少している。令和4年度に農政課で実施した食育・地産地消アンケートでは、農業体験や調理体験などのイベント企画のほか町内の農畜産物の情報がほしいというニーズがあることがわかった。町産農作物の調理体験を通して生産者の思いや豊かな自然の恵みを体験する場とする。</p> <p>■対象者 紫波町在住の親子、一般</p> <p>■事業スケジュール 12月 干しりんごのクリスマスケーキ作り体験 1月 クラフトコーラ作り体験 2月 紫波町産大豆の味噌作り体験</p>	40,000
3	鎌倉女子大学 秦研究室	産直あぐり志和	産地直売所販売 お惣菜及び 食堂の食環境整備	食材セット産直販売 プロジェクト	<p>令和4年度より継続し、地域住民が利用する産直販売所での食環境整備を実施している。令和5年度は栄養・食生活情報を店内のポップ等で掲示し、産直で販売している食料品やお惣菜のレシピを作成した。令和6年度は、産直利用者のライフスタイルに合わせた(スポーツ選手など)、弁当や定食メニュー、お惣菜の開発を管理栄養士・栄養士と細川氏で行うことで紫波町民ならびに岩手県民への食育および健康づくりに寄与する。</p> <p>■対象者 産直あぐり志和、あぐりちゃやの利用者</p> <p>■事業スケジュール 8月 定食、弁当メニューの選定、試作 9月 試作メニューについて産直あぐり志和と秦研究室との意見交換会 10～12月 試作メニューの提供・販売/モニタリング 1～2月 メニューの評価、改善 産直あぐり志、秦研究室で意見交換会</p>	40,000
						180,000